

令和5年度 学校関係者評価書（川南町立通山小学校）

| 項目 | 評価指標 及び 具体的目標 | 自己評価 | | 自己評価結果の考察・分析および改善策等 | 関係者評価 | | 学校関係者評価委員の意見 |
|--|---|------|-----|---|-------|-----|--|
| | | 項目 | 総合 | | 項目 | 総合 | |
| I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進 | | | | | | | |
| 1 | 家庭教育支援の充実に努める。 ①家庭教育学級の充実 ②おやじの会との連携 | 3.1 | 3.1 | ①中学校校区の三校合同家庭教育学級を開催することができ、大変良かった。今後も参加を呼び掛けていく。 ②運動会の準備や当日の運営、片付けなど積極的にご協力いただき大変助かった。 | 3.2 | 3.2 | ○学校とのつながりが母親が多く、父親の参加が増えると良い。 ○おやじの会と家庭教育学級の充実に期待する。 |
| 2 | 学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事等の充実 ②幼・保・中との連携・交流 | 3.3 | 3.3 | ①昨年度はコロナ感染拡大に伴って中止せざるをえなかった「ふれあい参観日」を予定通りに実施することができ、保護者や地域人材を活用することができた。 ②幼稚園と交流活動を行い、交流を深めることができた。 | 3.4 | 3.3 | ○地域連携はとても良い。このまま交流を継続してほしい。 ○児童と園児との交流活動を実施できたことは良かった。 ○「ふれあい参観日」の呼びかけ方、広げ方にもう工夫ほしい。 |
| II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進 | | | | | | | |
| 1 | 読書活動を推進する。 ①教科等の学習における図書室の積極的活用 ②読み聞かせボランティアとの連携 | 2.6 | | ①図書館の図書購入及び活用については、計画的に進めている。11月に図書委員会による読み聞かせを実施した。 ②読み聞かせボランティアについてもほぼ計画通り実施できた。 | 3.3 | 3.3 | ○読み聞かせ活動を継続してほしい。 ○読み聞かせはとても大切なことだと思う。保育園でもクラスごとに毎日行っている。 ○読書の楽しさ、大切さを教える努力がされている。 |
| 2 | 確かな学力を育む教育を推進する。 ①基本的な学習態度の育成 ②教員の授業力の向上 ③ICTを活用した授業づくりの推進 | 3.0 | | ①昨年度と比較して、徐々に聞く態度が身に付いてきているが、まだ不十分である。学年差もみられる。 ②校内研修や現場教育事務所との支援を通して、授業改善について研修し、授業力の向上を図ることができた。 ③ICT機器を授業に積極的に取り入れるとともに、今後、家庭での活用もきめ、効果的な活用方法を探っていく。 | 2.8 | 2.8 | ○日頃からの指導に感謝している。益々の教育向上に期待する。 ○ICT機器を積極的に取り入れていることは良いことだと思うが、児童の中には不得手な子もいるように見受けられた。 ○落ち着いた各学級の状況が見られる。 |
| 3 | 人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ①心のこもったあいさつ・返事の実践 ②人権教育の常時指導の充実 ③いじめ等の早期発見・解消 ④命を大切に教育の推進 | 2.8 | | ①あいさつの実践力が高まってきているが、個人差や場面による差が大きい。今後も継続して指導していく。 ②悩みアンケートをもとに、望ましい人間関係の在り方等について指導を行ってきた。また、人権に関する研修を実施し、職員の人権感覚の向上を図った。 ③悩みアンケートや教育相談の結果を全職員で情報共有し、協働・共同実践を行った。 ④人権委員会を行い、担当職員の人権に関する読書の読み聞かせや、生活委員会からの「優しい通山っ子の木」の提案を行うことで、人権教育の理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図ることができた。 | 3.1 | 3.1 | ○あいさつと共に礼儀正しい教育の推進に期待する。 ○あいさつから人とのふれあいが始まるので、地域での登校時の立番見守り活動が復活できないか検討を要する。 |
| 4 | 特別支援教育を推進する。 ①児童一人一人のニーズに応じた支援の充実 ②特別支援体制と関係機関との連携の充実 | 3.4 | 3.0 | ①面談を通して、保護者の要望等をつかむとともに児童の状況について、全職員で共有してきた。ユニバーサルデザインの視点を意識した指導を行っている。 ②SSWやSC、民生委員児童委員、特別支援エリアコーディネーター等との連携を密にし、個に応じた指導を行ってきた。 | 3.2 | 3.2 | ○多方面からの視点で専門的繋がりに期待する。 ○個々への対応（支援）が必要な子は年々増えてきている。連携の重要性を痛感している。 ○一人一人の状況に合わせて行われている。 |
| 5 | 郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事の充実【再掲】 ②総合的な学習の時間におけるふるさと学習の充実 | 3.1 | | ①年間計画通り、地域人材・素材を活用している。昨年度できなかった「ふれあい参観日」も実施することができた。 ②年間指導計画に基づいて学習を進めている。学校に講師をお招きしての授業や地域に向いての学習など、ふるさと川南の自然、文化、産業等、そのよさを学ぶ学習を実施している。 | 3.2 | 3.2 | ○年間計画通りに行えて良かった。 ○郷土愛を深めていくことは、後生のためにも大切である。 ○地域行事等の低迷が不安要因だが、参加の機会を増やしたい。 |
| 6 | キャリア教育を推進する。 ①地元企業や人材等を活用した学習活動の推進 ②生き方教室の実施 | 2.9 | | ①年間計画通り、地域人材・素材を活用してきた。 ②年間指導計画に基づいて学習を進めている。今後、新たな人材発掘も行っていく。 | 3.5 | 3.5 | ○近隣の農業大学、保育園との繋がりを続けてほしい。 ○協力企業、協力者の確保と拡大が必要である。 |
| 7 | 社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。 ①ICTを活用した授業づくりの推進【再掲】 ②対話的な学びの実践 | 3.0 | | ①ICT機器を授業に積極的に取り入れるとともに、今後も効果的な活用方法を探っていく。 ②学習内容に応じて、対話的な学習活動を取り入れてきた。今後も積極的に取り入れていく。 | 3.5 | 3.5 | ○概ね計画通りに行えて良かった。 ○ICT機器の扱い方はよくなってきている。 |
| III 教育を支える体制や環境の整備・充実 | | | | | | | |
| 1 | 教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ①教職員の資質向上と働き方改革を推進する校時程の運用 ②学校における業務の見直し | 2.9 | | ①昨年度より運用している校時程により、放課後における教材研究の時間を確保することができた。 ②業務内容の見直しにより、廃止したり、簡略化したりすることで授業準備に充てる時間を確保してきた。働き方改革に対する職員の意識が高まってきた。 | 3.1 | 3.1 | ○新しい分野の取入れは大変だと思うが、大切だと思う。 ○働き方の改善を更に進める。 |
| 2 | 安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。 ①緊急時の避難体制の整備 ②交通安全指導の徹底 ③校内の安全整備 | 3.2 | 3.1 | ①地震、火災、大雨、不審者侵入等を想定した避難訓練を計画通りに実施することができた。 ②交通安全教室や常時指導を通して、学年の発達段階に応じた交通安全指導を徹底してきた。 ③毎月の安全点検を計画的に行い、危険箇所の把握と修繕を行っている。PTAと連携をして通学路の安全点検を行うことができた。 | 3.2 | 3.2 | ○緊急性の内容等、安心メールでの情報発信が良かった。 ○施設の改善、トイレの様式化等を進める。 |
| IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進 | | | | | | | |
| 1 | 学校体育の推進に努める。 ①体育学習の充実 ②運動の習慣化 ③望ましい生活習慣の定着化 | 3.2 | 3.2 | ①各学年に応じて、体育の時間における運動量の確保に努めてきた。新スポーツテストの結果から体力が数増したといえる。 ②さわやか体操を計画的に実施したり、熱中症対策を行いながら外遊びを奨励したりしてきた。 ③望ましい生活習慣の定着化については、保健便り等を通して、家庭と協力しながら進めていくことができた。 | 3.0 | 3.0 | ○運動する楽しさと共に体力向上に期待する。 ○体を動かすことの楽しさを分からせる工夫が必要である。 |